

令和4年度 ヒヤリ・ハット活動推進運動 埼玉



建設現場のヒヤリ・ハットと安全対策

◎ヒヤリ・ハットとは？

建設現場では多くの作業員、資材、機械が混在し、設備の不備や不注意・不安全行動等が労働災害へつながる危険があります。そのような環境において作業をおこなっている中、もう少しでケガをしそうであぶなかった

「ヒヤリとした！ハットとした！」⇒「放置すると災害につながる」

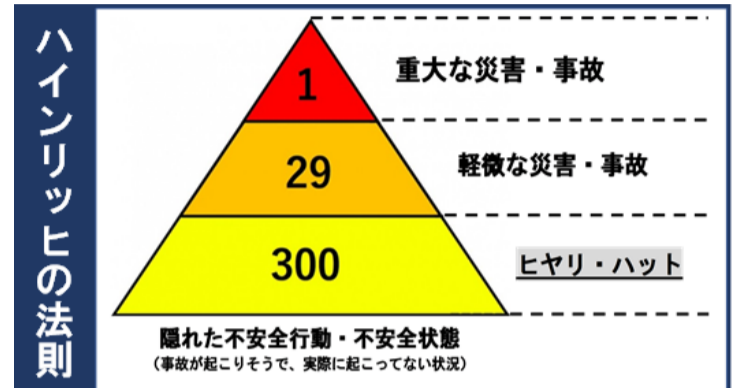
状況を言います。(※実際に災害が起きてしまった事例はヒヤリ・ハットとは言いません。)

◎ヒヤリ・ハットと安全対策

重大な災害や事故と、ヒヤリ・ハットとの関連を具体的に示したものとして、ハイリッヒの法則(1:29:300の法則)があります。

1件の重大な災害・事故には、29件の軽微な災害・事故、300件のヒヤリ・ハット(災害が発生してない事故)が存在しているといわれています。

ヒヤリ・ハット事例を集め、ヒヤリ・ハットに対して改善・対策を行い、その情報を全員で共有し、安全対策を行うことが大切となります。



ヒヤリ・ハット活動の基本的な流れ及び考え方

ヒヤリ・ハットが発生したら**職長・作業所長へ報告**する。

報告されたヒヤリ・ハットに対して、**対策・改善を実施し災害防止**を行う。

事業場に於いて各作業所のヒヤリ・ハットを集計・分析する。

事業場・作業所に於いて**分析結果を今後の安全対策**に役立てる。

災害を防止する為 ヒヤリ・ハット情報を共有して 今後の安全対策に役立てよう！



ヒヤリ・ハット事例 【職場のあんぜんサイトより参照】 ※作業所に合ったヒヤリハット事例を活用しよう。

墜落・転落

■ 状況

新築住宅のボード張り作業を手すりなし可搬式作業台上で、ボードを持ち上げ壁張り中ふらついて足元がずれ足場から落ちそうになった。なお、作業員は連日の残業であった。



■ 原因

可搬式作業台が安全な手すり付の作業台でなかった。残業が続き当日午後7時頃の作業で疲れが蓄積するとともに、集中力が低下していた。

■ 対策

高さ2m未満の高所作業でも墜落災害は危険なので、手すり付き脚立の使用又は、広い作業台を準備して作業する。また、必要により安全帯を使用する。なお、作業手順等を作成し、その安全作業の徹底を図る。

転倒

■ 状況

道路舗装工事において、未施工部分に設置した鉄板の端につまずいて、転倒しそうになった。



■ 原因

仮通路に段差があった。

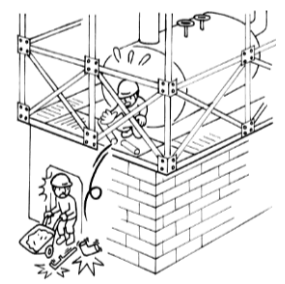
■ 対策

仮通路は、段差つまずきのないよう整備するとともに、目立つよう通路に注意表示すること。

飛来・落下

■ 状況

設置機械の修繕作業を行っていたとき、上部の足場で作業していた作業員が、誤って工具等を落とした。下で作業を行っていた作業員のすぐ傍へ落とし、危うく当たりそうになった。



■ 原因

上下作業を行っていた。ネットを張る等の落下防止措置をせず作業を行った。

■ 対策

上下作業を禁止する。時間的余裕のない場合については、時間帯をずらすか、ネットを張る等の落下防止措置を行い、作業手順書を周知させてから行う。

切れ・こすれ

■ 状況

ディスクグラインダーを使用して階段手すりの錆を落としていたところ、砥石の部分が手首に触れてしまいそうになった。



■ 原因

ディスクグラインダーを片手で使用していた。

■ 対策

ディスクグラインダー作業は、作業内容に適したカバーで、手持ちハンドルを使用した両手持持での作業を行う。

はさまれ・まきこまれ

■ 状況

下水道工事において、マンホールの蓋を閉めようとした際、その場に合ったレンチをテコの代わりに使用し、手で蓋を持ち上げようと指を蓋の下に入れたところ、レンチが滑り、マンホールの蓋と地面の間に指をはさんでしまいそうになった。



■ 原因

専用器具でないレンチを用いて、マンホールの蓋を持ち上げようとしたこと。

■ 対策

マンホールの蓋の開閉時には、専用器具を使用すること。また、マンホールの蓋を閉める際は、専用バールで蓋を浮かせて水平に回転させ、足で押しながら静かにフレーム内(定位置)に戻すこと。

有害物等との接触

■ 状況

風呂場改修工事で塗装面の剥離作業が短時間作業だった為、換気ダクトの取り付けを省いて作業を行った。その後、頭が痛くなり作業を中止して外気で休んでいるうちに回復した。



■ 原因

塗装面の剥離作業を行うにあたり、作業手順を順守せず、持参した換気ダクトと防毒マスクを未使用のまま作業を行った。

■ 対策

作業手順書を順守し、換気ダクトを設置して稼働させ、十分な換気を行い、短時間作業でも有効な防毒マスクを使用する。

ヒヤリ・ハット活動を推進して、危険への感受性を高めよう！